

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	bamPlus		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日		令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和8年1月26日		令和8年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・広い室内で、子どもたちがのびのびと活動できる。 運動スペースと学習スペースに分けているため、個々のニーズに合わせて支援できる。	・パーティションで室内を仕切り、落ち着いて活動に取り組むことができるよう工夫している。	・各コーナーにスタッフが最低1名つくことにより、目を行き届かせると同時に、支援の充実化を図っている。
2	・運動や保育に特化して専門スタッフが揃っているため、それぞれの分野での活動内容を取り入れることができる。	・スタッフの得意分野を活かして、毎日違う活動内容でプログラムを作成している。(体育・製作・サッカー・クッキング・ボードゲームなど)	・運動会やクリスマス会など、年に数回の大きな用事を開催することにより、保護者への発表の場を設けている。
3	・月に1, 2回の野外活動を行うことにより、公共の場でのルールや社会性を身に着ける機会を設けている。	・大きな公園や川遊びで体を動かしたり、プラネタリウムや水族館で静かに過ごしたりと、様々な場所でのルールを身に着けていけるよう工夫している。	・野外活動では、少人数のグループに分かれることで、子どもたち主体で意見を出し合ったり、異年齢児同士の関わりを持つ機会を作っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動スペースが広く、のびのび体を動かせる分、怪我のリスクが増える。	・とび箱や鉄棒など、大きな用具が置かれていたり、ボール遊びやおにごっこができる広さがあるため、自由時間は特にルールや約束事を徹底する必要がある。	・防犯カメラを設置することにより、室内の隅々まで目が行き届き、死角をなくすことができている。
2	・スタッフと児童との距離感が近いことが、強みでもあり弱みでもある。	・スタッフと児童の距離感が近いことで、なんでも話しやすい雰囲気であると同時に、メリハリがなくなってしまう時がある。	・スタッフ全員が、適切な距離感で児童と接し、時には甘えられる雰囲気を作りながらも、メリハリある行動を意識している。
3	・送迎時間や宿題など、一人ひとりのニーズに合わせて、児童によっては十分な活動時間が取れない時がある。	・児童と保護者の双方の思いを汲み取り、支援プログラムを作成し、個々に応じた内容で充実した時間を過ごしてもらえるよう心掛けている。	・十分な人数のスタッフを配置することにより、一人ひとりが必要な支援を受けることができるよう努めている。